



生活環境経済学科

Department of Economics for Life and Social Environment



2020年度
新学科
設置



変動の激しい経済社会において、
生活者の視点から「生活の質」を
改善できる能力を身につける

市民生活の基盤となる経済社会は、グローバル化や人口動態の変化などによって大きく変動します。この学科では、地域・都市、自然環境、福祉システム、職場・雇用環境など、人々の身近な生活環境の変容を経済学の多様な学びから把握し、生活者の視点から「生活の質」を改善できる能力を身につけます。

PROFESSOR INTERVIEW

インターネットなどの通信手段や交通手段の発達で、時間と空間は圧縮され、地球はかつてと比べてはるかに「小さく」なりつつありますが、人間の生活とそれを取り巻く環境はどうなっているのでしょうか？経済学と聞くと、堅くて難解なイメージを持つ人が多いかもしれませんが、この学科では日常的でソフトな目線からの思考を大事にしています。地域・都市、住まい、自然環境、福祉システム、仕事と職場といったテーマについて、各人の関心に沿って学べるカリキュラムで、身近な視点とグローバルな視野を身につけていきましょう。

長尾 謙吉 教授



【 PICK UP 特色のある授業 】

生活経済論



MESSAGE

「生活経済論」では、経済を「生活」という身近な視点からひもといていく授業です。賃金の格差や労働環境の問題、社会福祉といった自分たちの生活に関係する問題を取り扱っており、この授業を通して、自分たちの生活に経済が深く関係していることを感じることができます。

2年 原田 未来さん

都市経済論



MESSAGE

「都市経済論」では、都市の立地や発展過程について、基本的な理論とさまざまな都市の事例を学ぶことができます。東京をはじめ大都市に興味を持っている人や地方公務員を目指している人にオススメの授業です。授業は、要点を示したレジュメを使用し、スクリーンで図表や写真を交えながら展開していきます。

3年 小倉 真結さん

日本経済史



MESSAGE

私たちが大学で学んでいる経済学は、現代の経済システムをモデルとして学ぶ方法と、その形成過程を歴史的に学ぶという方法とで学ぶことができます。「日本経済史」では、江戸時代から現代までの日本経済の発展の過程をたどることができます。高校までで学んだ日本史や政経の知識が、経済学という学問の知識に結びついていく感覚が楽しい授業です。

3年 永井 夏貴さん

金融システム論



MESSAGE

「金融システム論」では、市場経済の動きをお金の動きの面から学修しています。金融というと難しく感じるかもしれませんが、授業の最初に前回の復習やその日学ぶ内容の説明があり、教科書の内容に則したプリントを配布していただけるので、とても理解しやすかったです。授業の中で学修しやすい環境を整えてくださるので、落ち着いて学ぶことができました。

4年 小林 瑞季さん